

香川大学サテライトセミナー 第25回イキイキサメキ健康塾  
虚血性心疾患とカテーテル治療 切らずに血管を治します

日時：平成29年5月21日(日) 11:00~12:05

場所：レッツホール(高松丸亀町壱番街東館4階)

内容：虚血性心疾患とカテーテル治療 切らずに血管を治します

講師：香川大学医学部付属病院 循環器内科

講師 村上和司

概要：(チラシより)

カテーテルを用いた血管内治療はさまざまな分野でめざましい進歩をとげており、狭心症、心筋梗塞などの虚血性心疾患に対する治療の中でも代表的な治療方法として確立されています。病気の状態によっては、その他の治療方法を選択しなければならないこともあります。カテーテルによる冠動脈の治療は体への負担も少なく、今後も主たる治療方法であることは間違いありません。本セミナーでは、虚血性心疾患に対する最新のカテーテル治療をご紹介します。

内容：

○プロフィール

- ・平成10年3月香川大学卒
- ・大阪医大、高松病院、循環器内科などを経
- ・平成22年 香川医大へ
- ・平成28年循環器内科の講師
- ・認定総合内科専門員、循環器内科専門員 など

内容：

11:02~12:04 「虚血性心疾患とカテーテル治療」 切らずに血管を治します

○カテーテルで治療できる疾患

- ・この20年ほどで技術が進展し、足の血管、脳の血管、不整脈、心不全、弁膜疾患など弁の治療もできるように。

○カテーテルとは

- ・体の中に入れるモノを総称してカテーテル。
- ・チューブ状で造影剤を入れるもの、圧力測定、内容の採取など。

○虚血性心疾患

- ・虚血：組織や臓器への動脈血の流れが減少あるいは途絶すること。
- ・虚血性心疾患：冠動脈に狭窄、閉塞が生じ、心筋への血流、酸素供給が阻害されることによって起こる心疾患の総称。
- ・心疾患における死亡原因：急性心筋梗塞が25%、虚血性心疾患が18%
  - ・急性冠症候群：コレステロールなどがたまり決戦ができ、急速に狭窄あるいは閉塞し、心筋が数分で死滅する恐れあり。

香川大学サテライトセミナー 参加費無料・事前申込不要  
香川大学医学部付属病院 医療セミナー  
第25回 イキイキサメキ健康塾  
— 香川大学病院と最新医療 —  
日時 平成29年 5月21日(日) 11:00~12:00  
場所 丸亀町レッツホール (高松丸亀町商店街)  
高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町壱番街東館4階  
内容 「虚血性心疾患とカテーテル治療」  
切らずに血管を治します  
先着50名(参加費無料・事前申込不要・どなたでも参加可能)  
※人数が超過した場合、入場をお断りすることがあります。  
講師 香川大学医学部付属病院 循環器内科  
講師 村上 和司

カテーテルを用いた血管内治療はさまざまな分野でめざましい進歩をとげており、狭心症、心筋梗塞などの虚血性心疾患に対する治療の中でも代表的な治療方法として確立されています。病気の状態によっては、その他の治療方法を選択しなければならないこともあります。カテーテルによる冠動脈の治療は体への負担も少なく、今後も主たる治療方法であることは間違いありません。本セミナーでは、虚血性心疾患に対する最新のカテーテル治療をご紹介します。

※次回以降の開催予定 (会場：丸亀町レッツホール・高松丸亀町商店街) 11:00~12:00  
・6月18日(日) 呼吸器内科(石井)  
・7月23日(日) 臨床栄養科(早川)

問合せ先 761-0793  
香川県木田郡三木町池戸1750-1  
香川大学医学部総務課  
電話：087-891-2008 (平日9時~17時)  
香川大学医学部付属病院  
SAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

- ・労作性狭心症：冠動脈硬化による冠動脈内腔の狭小化により、一過性の心筋虚血による心機能不全。
- ・冠攣縮性狭心症（かんれんしゆくせい）：

#### ○冠危険因子（動脈硬化の原因）

- ・高血圧、糖尿病、喫煙、脂質異常症（コレステロール、中性脂肪）、内臓肥満（メタボリックシンドローム）、慢性腎臓病

#### ○虚血性心疾患の症状

- ・症状の性状：胸痛、胸部圧迫感など
- ・持続時間：狭心症・・・数分間から10分程度  
急性心筋梗塞・・・20分以上持続
- ・胸の痛みが続くときには、すぐに病院へ。

#### ○虚血性心疾患の症状

- ・冷や汗、吐き気、おう吐、呼吸困難感、めまい、失神などを伴う場合がある。
- ・あごや奥歯、のど、左肩・腕にも痛みを感じることもある。
- ・高齢の方、糖尿病の方には、症状が出にくく、少し胸が痛い程度。

#### ○虚血性心疾患の診断方法

- ・血液検査
- ・安静時心電図
- ・負荷心電図：運動負荷心電図 ← 血管が詰まりかけている人の発見に
- ・心エコー検査
- ・負荷心筋シンチ
- ・冠動脈造影検査（CT、カテーテル） ← 動いている心臓もCTが撮れるようになった・・・  
冠動脈CT ← 石灰化の強い病変部は鮮明に抽出できない

#### ○カテーテル挿入部位

- ・昔は直径が3mmほどあり、足の付け根の大冠動脈から入れ、負担が大きな検査だった。
- ・今は、カテーテルも細くなり、手首の動脈から入れる。患者さんの負担も軽減。

#### ○撮影画像

- ・血管が見えるのではなく、血管の中身が見えている。
- ・労作性狭心症：血管の全体が2/3～1/3ほどに細くなっている。

#### ○虚血性心疾患の治療方法

##### ◇薬物療法

- ・抗血栓薬（抗血小板薬）
- ・冠動脈拡張薬
- ・一次および二次予防薬（降圧薬、高脂血症治療薬、糖尿病治療薬）

##### ◇冠動脈血行再建術

- ・カテーテル治療：経皮的冠動脈インターベンション

- ・ 外科手術：冠動脈バイパス手術

#### ◇冠動脈バルーン形成術

- ・ 風船治療・ 風船で無理矢理血管を押し広げるので、さらなる障害につながることも

#### ◇冠動脈ステント留置術（ほぼこの方法で治療）

- ・ ベアメタルステント → バルーンに比べて、急性閉塞を予防することが可能となり、再狭窄率も減少（20～30%）

- ・ 薬剤溶出ステント → 血管がせばまることを抑制する薬が塗り込まれている

#### ◇生体吸収性薬剤溶出スキャフォールド

- ・ 時間が経つと溶けてなくなる。今後数年後にはこれが主流になるのでは。

#### ○血管内調音波検査

- ・ カテーテルにより血管の中から、血管の断面状況を観察できる。
- ・ 10気圧ほどでバルーンを広げ、拡張したステントを残置させる。

#### ○狭心症と心筋梗塞の比較（点検的な症例）

- ・ 狭心症：安定狭心症であれば緊急性はない → 生活習慣の改善、内服治療、待機的に冠動脈インターベンションあるいは冠動脈バイパス術。
- ・ 急性心筋梗塞：緊急に診断及び治療が必要な状態 → 緊急で冠動脈インターベンションあるいは冠動脈バイパス術が必要
- ・ 慢性的に時間をかけて閉塞が進むと、他の部位から毛細血管ができ、急激な症状が出ないことがある。

#### ○バイパス血管からの治療

- ・ 足からとった血管でのバイパス 昔は10年で詰まると言われていたが、コレステロールを低下させる薬の使用などで長持ちできるようになった。
- ・ バイパス手術の経験者を再度バイパス手術することは難しく、カテーテル治療を。

#### ○本日のまとめ

- ・ うす皮の血管で起きる たばこ、コレステロールなどが原因。
- ・ 症状の軽い方を見逃さないように。病院に相談を。
- ・ 自覚症状のみでは病状を把握することは難しいため、検査が必要。
- ・ 胸が苦しいとき、一晩、家で我慢することのないように。早期診断、早期治療を。
- ・ 虚血性心疾患に対する治療は、生活習慣の改善が重要。塩分を控え、血管を治す治療を。
- ・ 血管の悪い場所、患者さんの病状により、処置を選択。

#### ○香川大学付属病院では

- ・ 循環器専門の病棟ができました。
- ・ カテーテル治療室も一新。

#### 11:58~12:04 質疑

女性Q：昨年9月に検査、大腸ガン、心臓の大動脈狭窄症、高齢・・・ など大腸ガンの手術が

難しい。

A :

次回：6月18日（日）11：00～「たかが肺炎！ されど肺炎！ ～肺炎とどう向き合っているか？～」

－以上－